

工作のきまり

ケガをしたり、させたりすることがないように気をつけよう。は物を出したままにしないようにしよう。ハサミをわたすときは、持つところを相手に向けよう。両手で、横向きにわたすのもよい。



ピンホールカメラの作りかた

用意するもの

- プラスチック植木ばち「ポリポット」
植木ばち1と植木ばち2
- トレーシングペーパー 1まい
- あのあいた黒い画用紙 1まい
- ビニールテープ 1まき
- がびょう（教だんにあります）

1. 植木ばち1の底を、ハサミで丸く大きめに切り取ります。形がゆがんでもだいじょうぶです。

ぐにゃぐにゃにならないよう、ふちから3センチくらいは残しておきましょう。



2. 大きく切り取った植木ばち1に、トレーシングペーパーをかぶせて、まわりをビニールテープではりつけます。たいらな面になるようにはりつけましょう。



3. 植木ばち2の真ん中にあな（ピンホールがある）のあいた黒い画用紙をかぶせて、ビニールテープではりつけます。あなはふさがず、すみの部分から光がもれないようにはりつけます。



ピンホールカメラのできあがり！

植木ばち2を外がわ、トレーシングペーパーをかぶせた植木ばち1を内がわにして重ねて、まどの外や、まぶしすぎない電とうにむけて、中をのぞいてごらん。



※晴れの日、明るい曇りの日にはピンホール画像を見ることができますが、雨の日等の暗い日にはうまく見ることはできません。悪天候のときには別の工作をする等、進め方に工夫をするとよいでしょう。